

いわき短期大学の学生・教員を対象に「防災・減災」の講義を行いました（2019/2/21）

テーマ：東日本大震災の教訓と防災の取り組み、災害医療の基礎知識
場所：東北大学災害科学国際研究所 演習室 A（宮城県仙台市青葉区）

2018年度から防災教育効果の検証を共同研究しているいわき短期大学の学生と教員 15 名が災害科学国際研究所を訪問されました。

第一部では当研究所の今村文彦 所長が「東日本大震災の教訓と防災の取り組み-それぞれの役割と実践」というタイトルで講義を行いました。自然災害科学の解説から、外力は変えられないが被害は防災力によって軽減できることを中心に学習しました。

講義後には約 20 分間の質疑応答があり、多くの質問や活発な議論が展開されました。

第二部では、災害医学研究部門 災害医療国際協力学の江川新一 教授から「災害医療の基礎知識」と題して講義が行われました。特に我が国の災害医療体制に関しては、その実態と課題をどの参加も興味深く学習していました。講義後の質疑応答の時間は予定を大幅に超過するほど熱心な質問や意見が多く出され、非常に有意義な交流の場となりました。

講義終了後は、当研究所 1 階の展示物の見学会も実施されました。



今村所長の講義風景



江川教授の講義風景

文責：保田真理（地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門）